

ねっとわあく

206 JANUARY

長野県生活協同組合連合会

ねっとわあくNo206 2010年1月1日 発行責任者：清水 邦明



■新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

この間の世界的な金融バブルの崩壊は私たち国民の生活を直撃しています。企業業績の悪化は雇用と家計への不安を招き消費者の購買意欲を低下させ生協事業にも深刻な影響を与えています。急激に進行する少子高齢化や社会保障制度等の先行きをめぐる不安は将来の暮らしにも重く影を落としています。

しかし、このような事態を招いた背景である利己的な利益最優先、優勝劣敗の過度の市場原理主義は、当然行き詰まり、一方で思いやりや助け合いの協同の理念に基づく事業や活動が再評価される機運も高まっています。私たちが安心して暮らせる地域社会を実現していくために、みんなの力を寄せ合い、お互いに助け合うことで自分たちの暮らしを良くしていくのだという、協同組合の存在意義が今ほど求められている時はないと思います。

県内の生協では「暮らしの安全安心を求める取り組み」が地域の様々な皆さんとの「協同」の取り組みをとおして広がっています。

2010年という節目の今年、県生協連にとっては第10次中計の最終年、仕上げの年であり新たな中計策定の重要な年でもあります。あらためて県連役職員、会員生協が共にそれぞれの立場から地域での交流と協同の輪を一層広げ、生き生きとした地域の再生にむけて、期待される役割を担えられるよう、本年も皆様と共に頑張っていきたいと思っています。今年もよろしく願いいたします。



会長理事 清水邦明

賀川豊彦献身100年記念講演会を開催しました

12月11日(金) メルパルクNAGANO (長野市) において、賀川豊彦献身100年記念講演会を開催しました。

今回の講演会は、日本生協連や記念事業全国委員会の呼び掛けに呼応して開催し、賀川豊彦の足跡の学習を通して、今日の社会における協同組合の価値や役割について考えるというもので、会員生協役員・行政・JA・友誼団体等から80名を超える参加がありました。

まず、賀川豊彦の生涯についてコンパクトにまとめたDVD

「愛と協同」を上映し、続いて、「賀川豊彦の思想と実践」と題して、加山久夫氏（賀川豊彦記念松沢資料館館長・明治学院大学名誉教授）が約1時間30分の講演を行いました。

加山氏は、賀川豊彦の足跡と時代との関係性を語られ、最後に、今、賀川豊彦から学ぶこととして3つの問題提起をされました。

- 「① 協同組合の理念（こころ）と実践を切り離さない。」
- 「② 人間の暮らしと社会の仕組みを全体的に考える。（樹を見るだけでなく、森を見る）」
- 「③ 第3の道として社会経済（協同組合セクター）が、これから益々重要になる。問題は、生協のリーダー、スタッフ、組合員自身がどの程度壮大な理念運動である協同組合を理解し、自覚的であるか、である。**協同組合が変われば社会が変わる。**」

終了後に出されたアンケートからは、「あらためて生協の役割を考えさせられた」「理念と実践を切り離さないという言葉に感銘を受けた。事業はその理念の表現であることを忘れてはならない」などの感想が出され、大変有意義な講演会となりました。



講師：加山久夫氏



2009年度理事長・専務理事懇談会を開催しました

12月11日(金) メルパルクNAGANO (長野市)において、理事長専務理事懇談会を開催し、会員生協の理事長・専務理事及び県連役員の24名が出席しました。

清水邦明会長が開会挨拶で「今日の暮らしをめぐる課題は1つの生協だけでは解決できないことも多くあり、豊かな地域社会の実現には会員生協間はもとより他団体（消団連・労働組合・地域福祉関係団体・JAなど協同組合等）と手をつないで進めるネッ

トワークが大切で、県連の重要な役割がこの点にあると考えています。そういう意味で、会員のバックアップがあって初めてイキイキした県連活動ができるし、やっていかねばなりません。懇談会を通じて、会員生協の積極的な交流をお願いしたい。」と話され開会しました。

小松専務代行が、2009年度の主要な活動を写真で紹介し、資料にそって2009年度上期の活動について説明した後、意見交流を行いました。「厳しい社会情勢の中、生協の存在意義について理解が深められるよう、また、県民・住民全体の生活を守る立場に立ってもらえるよう、行政にアプローチしていく部分など、生協連の役割は大きい。」といった意見要望が出されました。続いて行われた懇親会では、参加各生協がそれぞれ近況報告を行い、和やかに交流を深めることができました。



視察研修報告

県連理事で福井県民生協を視察見学しました

12月5日(土)～6日(日)、長野県生協連では、清水会長をはじめとする県生協連役員13名で福井県民生協(福井市)を訪問し、竹生正人専務に同生協の事業戦略について詳しくお話を伺ったほか、店舗の「ハーツ羽水」、店舗に併設された高齢者介護事業所「羽水きらめき」、子育て関連事業施設「ハーツきずり羽水」を視察見学しました。

竹生専務からは、無店舗(共同購入)事業を土台とし店舗・福祉(高齢者介護・子育て支援)・共済の各事業のネットワーク(事業融合)によるシナジー効果の発揮により事業を成長させていることや、供給の中心となっているコア組合員(顧客)の維持拡大と、長期的な信頼関係構築をしていることなどの事業戦略について、店舗・福祉・子育て施設では、職員や組合員を大切にする姿勢を学ぶことができ、大変有意義な研修となりました。



第5回理事会を開催しました

日 時：12月11日(金) 10：30～11：40

会 場：メルパルクNAGANO 3F白鳳の間

出 席：14名：清水会長以下理事10名、
監事2名、事務局2名

内 容：以下の案件について協議を行い承認しました。

- (1) 2009虹のフェスタ in 南信のまとめ
- (2) 2010年度方針作成に向けて
- (3) 2010年度総会までの機関運営スケジュール
- (4) 2010年度役員選任スケジュール
- (5) 役員報酬委員会設置及び委員会構成について
- (6) 2010年賀詞交歓会の開催について
- (7) 県連車両の入れ替え
- (8) 長野県虹の会の海外視察研修への事務局長の派遣について

続いて、第4回理事会以降の機関会議報告や介護福祉部会の長野市との懇談会報告等、この間の活動報告を確認しました。



部会活動等の報告

6 県連合同業態研修会に参加しました

11月26日(木)～27日(金)茨城県において、吉池繁夫副会長（食堂売店部会長）以下長野県連参加者5名と栃木県・茨城県・群馬県・新潟県の参加者あわせて33名の参加で「2009年度6県連合同業態研修会」が開催されました。

6県連合同業態研修会は、長野・栃木・茨城・群馬・埼玉・新潟の6県の職域・大学生協の研修として年に1回各県持ち回りで開催し、各県における先進的な食堂・売店等の視察見学や講演企画によって大変有意義な取り組みとなっています。

今年の研修会は、全国唯一の海鵜捕獲場を見学した後、「稼働率連続20年日本一！おもてなしの心」と題して財団法人茨城県開発公社：国民宿舎「鵜の岬」塙吉七（はなわ きちしち）総支配人の講演を聞きました。

「おもてなし」という言葉に「心」を込めると、リピーターを含め様々な方々の口コミの効果が広がり、地域と共に進める地道なサービスが様々な可能性を広げるということについて学ぶことができました。



介護福祉部会では、福岡県高齢者福祉生協と夢のみずうみ村(山口県)を視察しました

県連介護福祉部会では、12月15日～16日に「福岡県高齢者福祉生協」と山口県の「夢のみずうみ村」を視察しました。視察には、長野医療・東信医療・上伊那医療・長野県高齢者の4生協と県連事務局から7名が参加しました。

15日(火)は、福岡県行橋市にある「高齢者福祉生協・けいちく事業所宅老所第2ほのぼの」を、事業所長の松本憲一さん(同生協常務理事)の案内で見学しました。

この施設は、今年の4月1日の開設にもかかわらず、月600人の利用者があり、11名の連続宿泊者を確保して、半年で652万円の剰余を生んでいます。「在宅介護をガンバル家族を支援する」として、困難事例でも「決して断らず」、施設での看取りを大事にして支持を広げていると語る松本さんのお話に時間が経つのを忘れました。また、そこで働いている30人余りの人たちをととても大切にしていることにも感銘を受けました。

16日(水)は、山口県山口市にある「夢のみずうみ村 山口サービスセンター」を見学しました。夢のみずうみ村はリハビリテーションを重視したサービスを行い、全国的にも注目されている施設です。

そのコンセプトは、紹介パンフの「ご自分でやりたいことをお選びいただき、好きなことだけやって頂いて元気になっていただきます。」という言葉に示されています。施設の案内をしていただいたTさんは利用者ですが、「案内役」というプログラムを選択され、広い施設内を2時間に渡って私たちを案内しながら、「Yume(ユーム)」という施設内通貨を始め、



たくさんのここならではの仕掛けやご自分のリハビリ体験を語っていただきました。外見は倉庫や郊外の保養所のようなようですが、「生きがい養生所」、「人生の現役養成道場」という言葉に納得する様々な工夫がされて大変刺激を受けました。



虹のフェスタ実行委員会報告

2009虹のフェスタ in 南信第6回実行委員会を開催しました

日時：11月30日(月) 10:05～12:10

会場：コープデリ伊北センター(コープながの・箕輪町)

出席：両澤実行委員長・市村副実行委員長(県生協連理事)をはじめ6生協の15名

内容：事務局が「2009虹のフェスタ in 南信」の概要報告を行い確認し、続いて出席者全員が感想・改善点・課題等を出し合って論議を行いました。話し合った内容を虹のフェスタに関する意見・提言としてまとめ、県連理事会に報告することとしました。



長野県消費者問題シンポジウムが開催されました

11月19日(木) 「長野県消費者問題シンポジウム」がホテルメトロポリタン長野(長野市)で開催され、県下各地から大勢の消費者が参加しました。

今回のシンポジウムは長野県が主催し、県消団連と長野県消費者の会連絡会が共催しました。

午前の部では、消費者団体5組の活動発表につづいて、県消団連の小松事務局長が県消団連のこの間の取り組みについて報告を行いました。

午後の部は、「振り込め詐欺」の寸劇がアトラクションで披露された後、東京経済大学教授の村千鶴子弁護士が「消費者新時代 消費者が主役 - 騙されないかしこい消費者に! -」と題して講演を行いました。

消費者を巻き込んだ事件や被害悪質商法はやさしく、人情に付け込んでくることなど、なぜ被害にあってしまうのか等をわかりやすくお話いただき、悪質商法被害に会わないためのポイントを説明いただきました。



第7回幹事会が開催されました

日時：11月11日(水) 10:30~12:00

会場：長野労働会館・3階会議室

出席：北條舒正会長をはじめ幹事8名

内容：事務局が第6回幹事会、第6回食の安全条例作業部会、長野県消費生活審議会、マイバッグ等持参率実態調査結果、消費者力検定団体受験等の報告を行い了承されました。続いて事務局が提案した協議事項を話し合った結果、以下のように確認しました。

- (1) 2009年度・市町村消費者行政アンケート結果のまとめを確認し、県や市町村に報告することとしました。
- (2) 消費者問題シンポジウムについて、消団連が行う報告内容と北條会長が閉会挨拶を行うことを確認しました。
- (3) 「食品の安全性の確保に関するシンポジウム」への県衛生部からのパネリスト派遣依頼について両澤幹事を派遣することを確認しました。
- (4) 「信越電気通信消費者支援連絡会」へ事務局が参加することを確認しました。



県衛生部食品・生活衛生課との意見交換会が開催されました

11月11日(水)、長野県婦人会館会議室(長野市)において、県衛生部食品・生活衛生課との意見交換会を開催しました。県からは高木課長補佐が出席され、消団連側からは北條会長をはじめ消団連幹事、コープながの、生活クラブ長野などから9名が参加しました。

県の食の安全確保に対する取り組み等について説明をいただいてから意見交換を行い、消団連側から「県独自の食の安全条例を作って欲しい」「リスクコミュニケーションの強化」「食の安全条例

には、消費者と生産者・事業者がお互いに理解する県段階の場を作れば」等の要望が出されました。高木課長補佐からは、この間事業者への衛生教育等を行ってきたことや、リスクコミュニケーションの課題等についてお話いただきました。

「食の安全・安心条例(仮称)」づくりに関する消団連の今後の取り組みの方向性を考える機会として有意義なものとなりました。

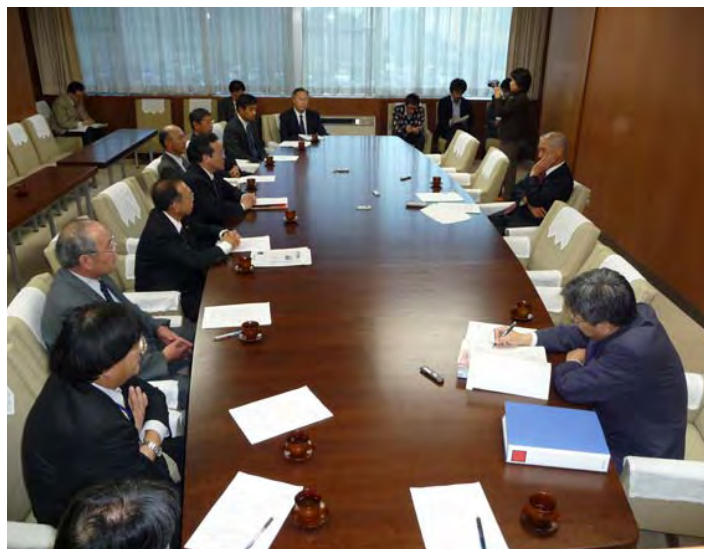


県労福協の活動報告

県労福協の県知事要請が行われました

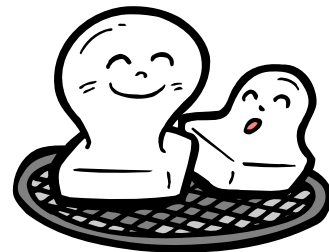
県生協連が加盟する長野県労働者福祉協議会は、11月6日(金)県庁第3応接室において、近藤理事長をはじめ役員12名が県政要求に関する村井県知事との懇談を行い、県生協連からは清水会長も出席しました。

労福協が地域の安全・安心を守る事を目的に事業に取り組んでいることを説明し、労働者福祉事業に対する積極的行政支援について県への要請内容を説明しました。今回労福協として、食の安全に関する県条例の制定要望、医療の安心・安全対策、多重債務者対策、中小企業勤労者の福祉向上などの項目について県に要請を行っており、各項目については11月9日(月)に関係各部局と直接話し合いました。



Information

- 1月4日(月) 仕事始め
- 1月6日(水) 労働団体新春講演会・新春交歓会
- 1月14日(木)～15日(金) 日生協全国政策討論集会
- 1月19日(火) 県消団連・第8回幹事会
- 1月22日(金) 第7回常任理事会
2010年賀詞交歓会
- 1月26日(火) 県労福協：事業団体合同研修会
- 1月27日(水) 信州エコポイント事業実行委員会
- 1月28日(木) 食育リンクネット長野：教育ファーム意見交換会
- 1月29日(金) 栃木県連40周年レセプション
- 2月4日(木) 中央地連：男女共同参画懇談会
信州大学消費者問題講座
- 2月6日(土) 大学部会学習交流会
- 2月9日(火) 第8回常任理事会
- 2月13日(土) 教育ファームシンポジウム
- 2月15日(月) 第2回生協災害対策協議会
- 2月18日(木) 県労福協：理事会
- 2月20日(土) 消費者行政シンポジウム
- 2月23日(火) 中央地連：都県連責任者会議
- 2月26日(金) 第6回理事会
マスコミ懇談会



CONTENTS

● 講演会報告 賀川豊彦献身100年記念講演会 …………… 2	介護福祉部会県外視察 …………… 5
● 懇談会報告 理事長・専務理事懇談会…………… 3	● 虹のフェスタ実行委員会報告 2009虹のフェスタ in 南信 第6回実行委員会 …………… 5
● 視察研修報告 理事会県外生協視察研修 (福井県民生協) …………… 3	● 県消団連等活動報告 長野県消費者問題シンポジウム …………… 6 第7回幹事会 …………… 6 県食品・生活衛生課との意見交換会 …………… 7
● 機関会議報告 第5回理事会…………… 4	● 友誼団体の活動報告 県労福協：知事懇談会 …………… 7
● 部会活動等報告 6県連合同業態研修会…………… 4	● Information …………… 8

会報 ねっとわあくNo.206

発行：長野県生活協同組合連合会 〒380-0921 長野市栗田950-6 メゾン栗田102

TEL 026-224-3161 FAX 026-224-3162

ホームページ <http://nagano-seikyoren.org/index.php>

